

こんなに多い！

げっ歯類が媒介するヒトと動物の感染症

ハンタウイルス肺症候群、腎症候性出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、ラッサ熱、リンパ性脈絡髄膜炎、ダニ媒介性脳炎、ペスト、レプトスピラ症、回帰熱、ライム病、日本紅斑熱、ツツガムシ病、鼠咬症、リステリア症、エーリキア症、ヒトプラズマ症、エルシニア症、野兔病、類鼻疽、クリプトスポリジウム症、エキノコックス症、アメーバ赤痢など



ベトナムの市場と病院で捕獲されたネズミ

食用としてカンボジアからベトナムへ運ばれるネズミ



- ・ 感染症病原体検出、性状解析
- ・ 学術研究として科学論文報告



科学を軸に各地域社会に合った最善のフィードバックを考える

国や地域によって資金が潤沢とは限らず、ヒトが生きていくために優先することは異なります。衛生環境改善のためインフラ整備は可能か？ヒトへの衛生教育を最初に始める？食文化を変えられる？国や地域によって色々な要素を考慮しながら、感染症の制御を考えることが公衆衛生学です。